

市の動き

ラグビーW杯2019TM 駐日ウルグアイ東方共和国大使が市を訪問

ラグビーW杯2019TMのウルグアイ代表の公認チームキャンプ地に決定したことを受け9月25日・26日の両日、駐日ウルグアイ東方共和国大使夫妻が市を訪れました。今回の訪問は、チームの受け入れに向け、市と同国の交流を目的に、市が同国大使のセサル・フェレル氏と令婦人のアナ・マリア・フェレル氏を招待したものです。

同国大使夫妻は、1年後に開催されるラグビーW杯

2019TMの会場となる「釜石鶴住居復興スタジアム」(釜石市)を見学したほか、北上総合運動公園や市内の企業、鬼の館など市内施設を巡りました。大使は「北上市は、トレーニングするのにすばらしい環境。これを機にビジネスや文化、教育の面でも交流を深めていきたい」と今後の関わりを期待を寄せました。



本庁舎で、握手を交わす同国大使(前列中央)と高橋敏彦市長(前列右)

「二子さといも」が 地理的表示(GI)保護制度に登録

「二子さといも」も協議会(小原富美雄会長)が農林水産省に登録申請を行っていた「二子さといも」は9月27日、地理的表示(GI)保護制度に登録されました。

同制度は、地域特性を生かした産品を知的財産として国が保護しようとするもの。「二子さといも」は、全国では68番目、県内では4番目の登録となりました。古くから品種改良をせずに栽培されてきた赤茎の在来品種であり、他のさといもにはない強い粘り気と味の濃さ、滑らかな食感が特徴です。

登録により「二子さといも」



登録証を手にする小原会長



GIマーク

消防団協力事業所表示証を新たに交付

市は、複数の従業員が消防団員として入団している事業所や、災害時などに消防団に資機材を提供している事業所などに対し、北上市消防団協力事業所表示証を交付しています。このたび、9月13日付で2事業所に同表示証を交付しました。

○(株)北日本環境保全(常盤台)
○北良(株)(和賀町後藤)

これまでに交付を受けた協力事業所は32社となりました。認定の有効期間は、認定の日から2年。同表示証は事業所などに掲示されています。
▼申し込み・問い合わせ：消防防災課 ☎ 7218305



(株)北日本環境保全の高橋幹一代表取締役専務(左)



北良(株)の笠井健代表取締役社長(左)

市内の避難者状況(みなし仮設住宅入居者)

(9月30日現在)

区市町村	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市	陸前高田市	宮城県	福島県	合計
世帯	3(-2)	12(-3)	8(0)	2(0)	4(0)	1(-1)	0(-1)	30(-7)
人数	5(-3)	18(-8)	18(0)	4(0)	5(0)	1(-2)	0(-2)	51(-15)

※()は6月比。市で把握している人数です。

※広域避難者の住宅再建が進んできていることや、みなし仮設入居者や転入被災者などの変動も小さくなっていることから、四半期ごとの掲載としています。

一人で悩まず相談しましょう

～11月は女性に対する暴力をなくす運動月間です～

夫・パートナーからの暴力(DV、デートDV)、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為などに悩んでいる女性がたくさんいます。

暴力は、性別や加害者、被害者の関係性を問わず、決して許されません。市は、11月を女性に対する暴力をなくす運動月間としており、取り組みを強化しています。

一人で悩まず相談してください。また、周りに悩んでいる人がいたら、相談できる場所があることを教えてください。



パープルリボンプロジェクト

～パープルリボンで意志表示を～

国際的な、女性に対する暴力根絶運動です。紫色のリボンを身に着けたり、飾ったりすることで、女性に対する暴力をなくしたいという意思表示につながります。どこでも・誰でも・一人で始められる運動です。

市は、本庁舎・江釣子庁舎・中央図書館・生涯学習センターにパープルリボンツリーを設置します。パープルリボンの配布も行っていますので、11月の運動月間中の着用にご協力ください。

婦人相談

～早めの相談が問題解決への第一歩～

とき 月～金曜日(祝日を除く)
午前9時15分～午後4時

ところ 子育て支援課(本庁舎4階)

相談電話 64-7573

問い合わせ 地域づくり課 ☎72-8300

レジェンドランナー？

珈琲ブレイク

81

北上市長
高橋敏考

健康への意識を高めていこうというところで呼びかけたのだ。彼らは大会中止に内心ホッとしているのかも知れないが、実は大会までの体づくりに必要な意味があり、出走や完走は二の次なのである。これを機会に汗をかき気持ち良さと健康の大切さを改めて感じてもらえたなら幸いである。

今年のいわて北上マラソン大会は残念ながら台風25号の影響で中止になってしまった。エントリーしてくださった2400名の選手たちはもちろん、実行委員会の皆さんも準備が出来ていただけに本当に残念な結果となり、心中お察し申し上げる次第である。さらに今年、岩手県南広域振興局では、圏域のマラソン大会の完走数に応じて表彰する、県南レジェンドランナーズ事業を展開しており、終盤のレースとなるこの大会に掛かっていた皆さんも少なからずおられたことだろう。実を言うと私も「レジェンドランナー」を狙っていた一人だった。

さて、今回の北上マラソンには当市の幹部職員は全員エントリーしていた。大会を盛り上げるとともに、自らも健康

例えば東日本大震災があった2011年から、中山石垣市長にはこの大会に出場していただいている。中山市長からは「高橋市長にも石垣島マラソンを走ってもらいたい」と言われ、逃げられなくなっ

てしまったのが私のマラソンライフの始まりである。当時100mを走るのもやっとだった私が、今では少し走れるようになったのだから、中山市長には感謝しなければならぬだろう。石垣市では、多くの市民が石垣島マラソンに参加している。タクシーの運転手のほとんどに参加経験があったことからそのことがわかる。来年の北上マラソンには、ぜひ、多くの市民にも参加していただきたいものである。岩手の「レジェンドランナー」を目指して。